

平成30年10月5日

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果

1 学力調査問題より

【正答率】

平成30年度	平均正答率 (%)				
	国語A (基礎・基本)	算数A (基礎・基本)	国語B (活用)	算数B (活用)	理科
瀬谷さくら小学校	63.0	53.0	49.0	43.0	55.0
全国 (公立)	70.7	63.5	54.7	51.5	60.3

【過去3年間で向上が見られた項目】

- 国語A 読むこと → +0.7%
- 国語A 書くこと → +9.5%
- 算数A 数と計算 → +1.0%
- 算数A 数量関係 → +1.1%

※理科は、平成30年度より実施

- 国語、算数 ともに基礎基本の力が身についた。
- 特に国語A「書くこと」に改善が見られた。

【課題のある項目】 平成30年度

- 国語、算数ともにB問題（活用）に課題がある。
- 文章で解答する問題において無答が多い。
- 算数ABともに「図形」に課題があり、特に平面図形や立体図形の理解が難しい。
- 算数B「量と測定」、示された情報を解釈して考えることに課題がある。

2 児童質問紙より

○ポイントの高い項目（10ポイント以上）

- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・ 家の人と学校での出来事について話をする。
- ・ 算数の勉強は大切だと思う。
- ・ 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。
- ・ 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立たつと思う。
- ・ 算数の授業で問題を解く時、もっと簡単に解く方法がないか考えている。
- ・ 理科の勉強は好き。
- ・ 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている。
- ・ 今、社会の事柄や自然の事象に「不思議だな」「おもしろいな」などと思う。

○課題を感じる項目

- ・ 家で学校の宿題をしていない。
- ・ 学校の授業以外に、普段、1日当たり、あまり勉強をしていない。
- ・ 学校の授業以外に、普段、1日当たり、あまり読書をしていない。
- ・ 算数の授業がよく分からない。
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれているとあまり思わない。

3 今後の対策と指導の方向性

（国語）

- 文章を書く中で漢字を使うよう意識づける。
- 国語辞典や漢字辞典の利用を習慣づけ、語彙力が高まるようにする。
- 目的に応じて、話し合ったり、自分の考えを話したりする時間を確保する。
- 読書の機会を多く設ける。

（算数）

- 図形問題では、主に立体で見えない部分に着目して考えられるようにする。
- 小数、分数で表された値の意味を考えさせ、計算練習を繰り返す。
- 文章題など、比較的情報量の多い問題を設定し、その中で条件に合う情報を選択できるようにする。
- 一つの問題に対して様々な方法で求めるように促す。
- 様々な資料を読み取る機会を設け、表などにまとめるようにさせる。

（生活）

- 家庭での予習・復習などの重要性を伝え、家庭学習の定着を図る。
- 読書する機会を多く設け、読書の楽しさを感じられるようにする。
- 自分の考えを発表する機会を多く設ける。
- 学校生活の中での学級活動など、自ら進んで物事に取り組む機会を多く設ける。
- 新聞やニュースなどの話題に触れる機会を多く設ける。
- 学習意欲が高まるよう、見通しをもち計画的に学習に臨めるようにする。